

とくぼん ほんはともたち



やすとしょかん

2025年3月 (No. 38)

ほんかん
ちゅうずぶんか
ん

でんわ 077-586-0218
でんわ 077-589-3382

ファクス 077-587-5976

としよかんのホームページ

<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/>



春がきて、あたらしい学年になるみなさんへ

としよかんの本を読んで、いろいろなことにチャレンジしてね!



3・4月のとしよかんカレンダー

にち 日	げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	ど 土
3/16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	4/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

くろいところ としよかん : 図書館がお休みの日

としよかん かいかんじかん ☆★図書館の開館時間★☆

ほんかん 【本館】 午前10時～午後6時

ちゅうずぶんかん 【中主分館】 午前10時～午後5時15分

★おはなし会★

毎週日曜日に、おはなし会をしています!

3/23(日)⇒ずくぼんじよ「おはなし」のおはなし会

①午後2時30分から (4・5歳向け)

②午後3時から (小学生～大人向け)

3/30(日)⇒はるやすみスペシャルおはなし会

午後2時30分から

ほかの日曜日⇒おはなしの森 午前10時30分から

新しくいった本



『ラント!』 K933/シル

クレイグ・シルビー/作 たなか なつこ やく (せいざんしゃ) 田中奈津子/訳 (静山社)

嫌われ者だった元野良犬のラントと、物を直すことがとくいな変わり者のアニーが暮らす町はさびれていた。アニーとラントは、町を救うため、家族を守るために、犬の障害物レースに出場することにする。けれど、ラントにはちょっと問題があった。アニー以外の人がいるところでは動かないのだ!

『教室のなかの多様性図鑑』

のぐちあきな かんしゅう 野口晃菜/監修

(Gakken) →



↑『はたらく動物病院』

よしだあきこ しょうげんしゃ 吉田亮人/写真 (創元社)

シリーズあります☆



野洲市に住んでいる人は、だれでもとしよかんカードがつくれるよ。図書館には毎週新しい本が入ってくるので、「あたらしくはいったほん」のたなをのぞいてみてね!



春に読みたい！おすすめの本

『モネと睡蓮 ジヴェルニーの庭の小さなスパイ』

ベアトリス・フォンタネル/文 松井文恵/訳
アレクサンドラ・ユアール/絵 (世界文化社) **K723**

画家クロード・モネは1890年代の終わりから1926年に亡くなるまで、ひたすら睡蓮の作品に専念しました。いかにしてモネは、あの大作を描いたのか…。小さなスパイが語るモネと睡蓮の物語。



『ひのきとひなげし』

宮沢賢治/作 スター/絵
出久根育/絵 (三起商行) **K913/ミ**

「あつまらないつまらない、いちど女王にしてくれたら、あしたは死んでもいいんだけど」—美しさにあこがれるひなげしたちの、愚かな願いにつけこむ悪魔と、ひなげしたちを守ろうとする若いひのきの物語。



『春ものがたり』

野上暁/編 (偕成社) **K913.68/ミ**

障害を持つ姉が働いて得た、はじめてのお給料。このお給料が家族にもたらす小さな奇跡のものがたり『ぼくのお姉さん』など、芽生え、春風、卒業、出会い、様々な春をえがいた作品集。季節をみずみずしくえがいた短編と詩の傑作15編を収録した「ものがたり12か月シリーズ」。



『にげてさがして』

ヨシタケシンスケ/著 (赤ちゃん和妈妈社) **E/ニ**

世の中には、いろいろな人がいる。ひどいことを言ったり、ひどいことをしたりする人もいる。そういう人にひどいことをされたら、とにかく、その人からはなれよう。そして、きみを守ってくれる人、わかってくれる人を探しに行こう。



『わたしのくらし世界のくらし』

マット・ラマス/作・絵 おおつかのりこ/訳
(汐文社) **K384**

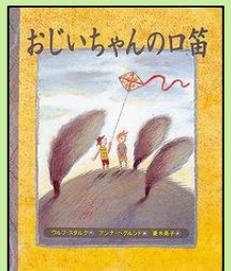
イタリア、日本、イラン、インド、ペルー、ウガンダ、ロシア。7つの国に住んでいる子どもたちの1日を見てみましょう。住んでいるのはどんな家？ 朝ごはんはなにを食べる？ 7人の子どもたちのありのままの生活を絵で紹介します。



『おじいちゃんのお笛』

ウルフ・スタルク/作 アンナ・ヘグルンド/絵
ひしきあきらこ/訳 (ほるぷ出版) **K949/ス**

ウルフのおじいちゃんの話聞いて、おじいちゃんがほしくなったベッラは、老人ホームで身よりのない老人ニルスさんと出会います。その日からニルスさんとベッラは、本当のおじいちゃんと孫のように仲良く遊ぶようになるのですが…。



『あしたのことば』

森絵都/作 (小峰書店) **K913/ミ**

やさしかったおばあちゃんがこの世を去ったのは、わたしが十歳のとき。あまりのとうとつさに、わたしはひどくうろたえました。そう、わたしのなかには、おばあちゃんにわたしそびれた言葉がどっさり残っていたのです。「言葉」をテーマに綴る8つの物語。



『春をさがして カヌーの旅』

大竹英洋/文・写真 (福音館書店) **K295**

北アメリカ大陸北部に広がる森と湖の世界「ノースウッズ」。5月、湖の氷がとけると、ともだちのウェインは、カヌーに3週間分の食糧とキャンプ道具を積み込んで森の奥へと旅にでます。ウェインとともにカヌーの旅に同行した著者が、旅の様子を写真でつづります。



他にも図書館にはおもしろい本がいっぱいあります！
ぜひ、図書館に来て、お気に入りの1冊を見つけてください…